

猪苗代兼載伝記

会津の生んだ連歌師

生いたち

今から四百年ほど昔、明応四年（一四九五年）九月二十六日、『新撰菟玖波集』  
という連歌集れんがしゅうができあがりました。全国のすぐれた連歌れんがを集めた歌集です。こ  
れを完成させるために、飯尾宗祇いのおそうぎと協力して努力した人は、猪苗代兼載いなわしろけんさいとい  
う会津の生んだすぐれた連歌師れんがしです。

そのころは室町時代むろまちとよばれ、足利氏あしかがしが京都に幕府ばくふを開いていました。将軍  
を中心とした幕府の力は大きかったのですが、武士である将軍が貴族風きぞくふうになっ  
ていくうちにだんだん力も弱よわまって、全国の各地は、実力をつけてきた大名が